

名称	砂糖メ小屋	(Shed who squeezes sugar cane)
----	-------	--------------------------------

モデルとなったのは香川県高松市屋島にある四国村に保存されているものです。

日本では江戸時代には砂糖の存在が既に知られていたが、栽培地は西南諸島に限られており、作られる砂糖も黒砂糖が一般的でした。高松藩ではサトウキビが育てられるようになり、領内各地で栽培できるようになりました。香川県で生産されている和三盆を讃岐和三盆糖と呼ばれています。

和三盆は貴重な特産品として諸国へ売りに出され、全国の和菓子の発展に大いなる貢献を果たしました。

この建物は江戸時代末期に建てられたもので、明治時代には香川県内各地で見られたそうですが、いまでは四国村の中で偲ぶばかりです。



所在地	香川県高松市	Japan Takamatsu-city, Kagawa
-----	--------	------------------------------

香川県の県庁所在地・高松市は四国の玄関口として栄えてきました。ここでは高松城を紹介します。高松城は今では判りにくくなっていますが海に面した城で堀には黒鯛が泳いでいたりします。天守台にあった神社を移転し石垣を組み直したので、いよいよ天守閣の復元かと期待したのですが、当時の写真はあるものの詳細の構造がわからないため復元の許可が下りないとのこと。残念な限りです。



高松城天守閣の模型